

## 平成 21 年度 都市緑化技術研修会 実施概要

【テーマ】 ~身近な生活環境をよくするために~

### 「都市における生物多様性の保全」



#### 1. 趣旨

都市化の進展とそれによる都市人口の増加に伴い、生物の種の減少や生息・生育域の縮小・消失が進んでおり、都市における生物多様性の保全が重要な課題となっている。

平成 19 年 (2007 年) に閣議決定された「第三次生物多様性国家戦略」では、生物多様性の危機に対する、国、地方公共団体、企業、市民等が連携して取り組むべき戦略として、生物多様性を社会に浸透させることや地域における人と自然の関係を再構築することなどが挙げられている。また、生物多様性条約においては「生物多様性の損失速度を顕著に減少させる」(2010 年目標) ことが掲げられており、国連では 2010 年が国際生物多様性年として位置づけられている。さらに、来年、名古屋市で開催される生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) では、生物多様性について、締約国が課題やその解決方法、世界的枠組み等を討議することとなっている。まさに 2010 年は生物多様性保全に向けての節目の年である。今後、生物多様性保全のために市民や自治体がかかわることの意義、担う役割は非常に大きい。

このような背景から、今回の研修会では、「都市における生物多様性の保全」をテーマに、都市における生物多様性の意義、その保全に向けた国、自治体、市民等の取り組み状況、また、都市における生物多様性保全にかかわる緑化技術等について把握し、今後の都市における生物多様性保全のあり方や方策等について展望することを目的とする。

2. 日時 平成 22 年 1 月 21 日 (木) 13:00~17:00 (12:30 受付開始)  
1 月 22 日 (金) 9:30~15:00

3. 会場 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 310 号室  
住所: 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 TEL: 03-3467-7201

4. 定員 100 名程度 ※定員になり次第受付を終了します。

5. プログラム 別添をご参照ください。※都合によりプログラム内容に変更が生じる場合があります。

6. 参加費 17,000 円 (当機構会員 14,000 円、テキスト代込み)  
参加費は申込受付後に送付する受講証に記載された振込先にお振り込みください。  
※振込手数料はご負担ください。

**当日、受付での現金支払いのお取り扱いはできませんのでご了承ください。**

7. 申込方法 参加申込書 (別紙 2) に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、メールのいずれかでお申し込みください。申込受付後、受講証を FAX またはメールでお送りするとともに、請求書を申込書に記載された連絡先にお送りします。申込後 3 日たっても受講証が届かない場合はご連絡ください。※領収書は当日受付にてお渡しします。

8. 申込締切 **平成 22 年 1 月 8 日 (金) 必着 ★申込期間を延長しました★**

#### 9. 申し込み・問い合わせ先

(財)都市緑化技術開発機構 企画部 鈴木、小池  
〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-15-2 新神田ビル 8 階  
TEL 03-5256-7161 FAX 03-5256-7164  
e-mail [koike@greentech.or.jp](mailto:koike@greentech.or.jp) (@を半角文字に直してお送りください)

【テーマ】 ～身近な生活環境をよくするために～

## 「都市における生物多様性の保全」

●1 日目：平成 22 年 1 月 21 日（木）13:00～17:00（12:30 受付開始）

時 間	内 容	講師（敬称略）
13:00-13:10(10分)	開会挨拶	(財)都市緑化技術開発機構 専務理事 小川 陽一
13:10-14:00(50分)	【総論】「公園緑地・都市緑化行政の動向」 公園緑地・都市緑化行政の課題と今後の方向性について、 地球温暖化対策や生物多様性保全の観点も踏まえて論じ る。	国土交通省 都市・地域整備局 公園緑地・景観課 緑地環境室長 棚野 良明
14:00-14:10(10分)	休 憩	
14:10-15:00(50分)	【総論】「都市における生物多様性保全の意義と方向性」 生物多様性保全の重要性、特に都市における生物多様性保 全の意義について自治体の役割等も含めて論じる。	東京農工大学 名誉教授 亀山 章
15:00-15:10(10分)	休 憩	
15:10-16:00(50分)	「都市のエコロジカルネットワークと都市公園」 都市のエコロジカルネットワークの望ましいあり方、留 意事項などについて、事例に基づき具体的に論じる。併せ て、生物のレフュージア（避難場所）などとしての都市公 園の価値について解説する。	慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 一ノ瀬 友博
16:00-16:10(10分)	休 憩	
16:10-17:00(50分)	「COP10 に向けた自治体の取り組み」 COP10 に向けた名古屋市等の取組状況を報告するととも に、COP10 併催の生物多様性国際自治体会議で議論される 内容やシンガポール政府が中心となって検討することとな った都市の生物多様性指標 (GBI) 等について論じる。	COP10 支援実行委員会事務局 国際自治体会議グループ 開催準備班長 伊藤 毅 (名古屋 環境局 生物多様性企画室 主査)

●2 日目：平成 22 年 1 月 22 日（金）9:30～15:00

時 間	内 容	講師（敬称略）
09:30-10:20(50分)	「横浜市の環境施策における市民協働」 横浜市の生物多様性保全に関する方針や、「横浜市水と緑 の基本計画」における各流域の生物多様性評価と連動した 市民協働による生態系健全度評価の取り組みについて論じ る。	横浜市 都市経営局政策課 西高 幸作
10:20-10:30(10分)	休 憩	
10:30-11:20(50分) ※アンケート回収	「NPO による生物多様性保全活動」 施設運営・植生管理や外来種管理等に関する活動等を通 じて得た知見・情報の発信、生物多様性保全活動の経験を ふまえ、今回は、都立光が丘公園バードサンクチュアリの 管理を事例として生物多様性保全について論じる。	特定非営利活動法人生態工房 事務局長 佐藤 方博
11:20-11:30(10分)	休 憩	
11:30-12:20(50分)	「神宮の森づくりに学ぶ都市の生物多様性」 人の手によってつくられた「明治神宮の森」は、今や多 様な生物種が共存する豊かな森となっている。その森づく りの計画から現在に至る過程、そこから学ぶべき都市の生 物多様性の保全・創出のあり方や課題等を論じる。	東京農業大学 地域環境科学部 教授 濱野 周泰
12:20-13:40(80分)	昼 食・休 憩・移 動	
13:40-15:00(80分) ※アンケート回収 ※現地集合・解散	【現地見学】「明治神宮の森」（※会場より約 30 分） 講義の内容を確認しながら一般の参道とは違った経路 で森を観察する。併せて、森の管理方法等についても解説 する。	東京農業大学 地域環境科学部 教授 濱野 周泰 明治神宮 技師 沖沢 幸二